

の世帯による1世帯当たり1ヶ月間の支出金額は、2012年に3315円となり、名目10.7%増、実質でも10.1%増加した。とくに、国内パック旅行費は、2008年以降はずつマイナスだったため、少なくとも5年ぶりの増加となった。

支出金額を地方別にみると、関東(3733円)が最多で、次いで近畿(3677円)、東海(3638円)の順となっており、これら3地域が全国平均(3315円)を上回った。東名阪を中心とした都市部での支出額が高く、宿泊料とはやや異なる傾向が出ているのは興味深い。

海外パック旅行費については、二人以上の世帯の1世帯当たり1ヶ月間の支出金額は、2012年は2626円となり、前年に比べて名目13.6%増、実質17.6%増と大幅に伸びた。これにより、震災前の2010年(2283円)の水準を超えただけでなく、過去5年

## 1-6 上半期の新聞広告出稿量 阪急1位、JTB2位

広告出稿動向を調査しているエム・アル・エス広告調査によると、2013年上半期(1-6月)の新聞広告出稿量ランキングで、1位は阪急交通社、2位はJTBと、トップ2を旅行業界が独占した。とくにJTBは、出稿量を前年同期よりも1割以上増やし、順位も昨年4位から2位に浮上するなど、攻勢を強めている。

1位の阪急交通社は、前年同期比では11.0%減と減少したものの、広告量は4万4155.2段に達し、2位のJTBに約倍の開きを付けた。また、ピーク期にあたる夏場以降は、再び出稿量を増やしており、9月も8212.6段で1位となり、8月に引き続き大幅な出稿増となった。

上半期2位のJTBは、前年同期比12.6%増の2万2466.7段を出稿し、前年4位から2位に浮上した。JTBは、2012年の年間ランクで5位、2011年は8位、2010年は6位と、4~8位前後で推移しており、2013年上半期に広告出稿を積極化していることが伺える。

また、2013年上半期は、8位にクラブツーリズムが入り、前年9位から一つランクを上げた。出稿量は、前年同期比0.2%増とほぼ横ばいの1万6789.0段となっている。

- ▼2009年=3630円(名目6.4%減・実質0.8%減)
- ▼2010年=3537円(名目2.6%減・実質3.3%減)
- ▼2011年=2995円(名目15.3%減・実質15.7%減)
- ▼2012年=3315円(名目10.7%増・実質10.1%増)  
【海外パック旅行費】
- ▼2008年=2523円(名目21.6%減・実質29.1%減)
- ▼2009年=2306円(名目8.6%減・実質6.0%増)
- ▼2010年=2283円(名目1.0%減・実質2.7%減)
- ▼2011年=2311円(名目1.2%増・実質12.6%減)
- ▼2012年=2626円(名目13.6%増・実質17.6%増)

2013年上半期の41位にはHISが入り、前年の34位からはランクを落とした。出稿量も3.1%減の6941.2段と減少した。

## 9月の外国人百貨店売上 前年比2倍以上に

日本百貨店協会(JDSA)のまとめによると、9月の外国人観光客による百貨店売上高総額(43店舗)は、前年同月より113.7%増の29億5295万円と2倍以上に伸び、1店舗平均で約6867万円の売上げを記録した。東南アジアや台湾、香港、韓国からの旅行者が増えたほか、中国も前年の尖閣問題による急減からの反動増を見せ、免税手続きベースの購買客数は同106.2%増の3万4411人と大きく拡大している。免税手続き1人あたりの購買単価は8万5814円(前年同月比3.6%増)だった。

## ミシュランガイド関西2014発行

日本ミシュランタイヤは10月25日、京都・大阪・神戸・奈良を対象に厳選したレストランと宿泊施設を紹介する「ミシュランガイド関西2014」を発行する。今回は、レストラン359軒・ホテル50軒・旅館42軒の計451軒を掲載。さらに、星は付かないもののコストパフォーマンスが高くオススメのレストランを認定する「ビブグルマ

県は9校で14%の回復度に留まるほか、

■合計=723校/4万9155人

## 業務渡航システム「トラボ」のセミナー開催

### 小山社長、ユーザーの力になるシステム提供

エヌオーアイ(NOE)グループのシステム販売会社であるトラベル・エボリューションは10月23日、同社が開発・販売する各種システムの最新情報を紹介するトラボ・セミナーを開催した。今回紹介したのは業務渡航系の旅行会社のための基幹システム「トラベル・エボリューション」(通称:トラボ)、トラボのASP版に位置づけられる「トラベル・マイスター」、今夏から発売した出張業務支援システム「シー・ファイブ」の3システム。

東京・千代田区の同社本社会議室で行われたセミナーの冒頭、小山文宏社長(写真)は「会社設立から5年が経過し、ト



ン」という新たなカテゴリを設けた。

星付きの施設数は、最高ランクの3つ星が14軒、2つ星が52軒(うち旅館1軒)、1つ星が204軒(うち旅館2軒)。また、新設したビブグルマンカテゴリには92軒を認定、うち40軒がフランス料理店で、52軒がイタリア料理店となった。

3つ星レストランには京都から7軒、大阪から4軒、兵庫から5軒、奈良から2軒、神戸から2軒、奈良から1軒を選出。京都の日本料理店「吉泉」と「未在」の2軒を新たに認定した。

「ミシュランガイド関西2014」は定価2800円。書籍版の発行に先駆け、10月22日にはPC & スマートフォン対応の電子版(年間2310円・月額210円)も公開した。

## JTB中部、チャーター利用の出雲

JTB中部は、チャーター便利用企画として、「初春!はじめての出雲路3日間」を発売した。これは、名古屋地区から定期便のない出雲縁結び空港へ、県営小牧空港からフジドリームエアライン(FDA)によるチャーター直行便を運航するもの。今年、60

ラボとトラベル・マイスターを合わせればユーザー企業は二十数社まで増えた。これまでシステムのバージョンアップに数千万円を投じてきたが、今後もより使いやすいシステムを目指して積極的に投資し、少しでもユーザー各社の力になるシステムを目指したい」と挨拶した。

トラボは業務渡航に長年の実績があるNOEが自社システムとして開発し、09年からはトラベル・エボリューションを通じて外部への販売を開始したもので、「シー・ファイブ」も、もともとはNOEのシステムだったが、今夏からはトラボのユーザー旅行会社にも有償で提供することになったもの。また「トラベル・マイスター」は、トラボの開発に参画したシステム開発会社のアジェンダが開発・販売し、トラベル・エボリューションが販売代理店を務めている。

年に一度の式年遷宮で人気を博した出雲大社を参拝するほか、玉作湯神社や八重垣神社など、縁結びにご利益のある神社を巡るなど、島根県の魅力を満喫する。

チャーター直行便ツアーや、来年1月24日、26日、28日出発の3本を設定。基本旅行代金は、大人一人7万4800円~(4名1室の場合)。最少催行人員は20名。

名古屋から出雲を訪れる場合、通常なら列車で約5時間かかるが、チャーター便なら約1時間で到着できる。同ツアーや、1泊目に玉造温泉、2泊目に三朝温泉に宿泊する。

## 日観振、ポスターコンクール開催

日本観光振興協会は、第62回目を迎える日本観光ポスターコンクールの作品募集を開始した。同コンクールは観光宣伝ポスターの質的向上と国内観光振興の促進を目的に、1947年から開催、前回は234点の応募があった。応募締切は12月27日まで。

※応募フォームURL  
<http://compe.japandesign.ne.jp/postcon2013/>